

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000176
事業所名	グループホーム大清水彩幸

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入している。 校区の盆踊り、地域の神社の祭りに参加、子供神輿の来所による交流、餅投げに参加など、親睦がある。 地元保育園との交流の中、園児の施設訪問、また文化交流、動物交流会の開催や、地域ボランティアとの交流も継続している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	家族、民生委員、地域包括支援センター職員の参加により、運営、事業の報告などし、意見交換、提案の反映、参加者拡大への呼びかけなど行っている。 職員の名札着用への要望に、代案として、ユニット出入りに写真付き紹介ボードを置くなど、提案の趣旨に沿う工夫がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	必要に応じ、随時、市長寿介護課へ、日常的に相談、報告、連携を図っている。 推進会議の場を利用し、地域包括支援センターから、市の取り組み、研修会、講習会の情報を得て、参加、利用している。 県の認知症実践者研修に職員が参加している。グループホーム連絡協議会に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族意見要望は、面会時、行事参加時に随時聞き取りをして、会議、申し送り時などに職員共有を図り、ケアの向上につなげている。 毎月ホーム全体の「お知らせ」と共に、個別に(食事、排せつ、入浴、健康状態など)を送り、情報共有、状態の把握がしやすいよう工夫している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	○	○	○	○			